

# HCC TIMES



## Vol.233 11 2022



豊泉家グループ 一般財団法人 SF 豊泉家  
〒561-0881 大阪府豊中市中塚塚 3-2-1  
TEL:0120-294-998  
<https://www.housenka.com/>  
編集：広報戦略室 / 編集長 石倉慎也  
2022.11.1発行

### 第15回 百歳クラブ「名豊会」

〜尊敬と感謝の集い2022〜



2022年9月19日(月) 敬老の日に、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階ホールで「百歳クラブ」名豊会「尊敬と感謝の集い2022」を開催いたしました。

百歳クラブは「人は百歳まで成長し続ける」を理念とし、100歳以上の名譽会員様で構成されています。皆様のご長寿と健康を称えらるとともに、豊泉家に関わる方のみならずシニアの皆様の道標になることを願い、2004年に発会し、2008年第一回開催、今回で15回目を迎えることができました。また今回は対象者32名のうち2名の方が「茶寿(108歳)」を迎えられ、より大きな喜びがこの日を迎えることができました。

昨年に引き続き、今年も未だ終息の兆しが見えない新型コロナウイルス感染症の予防対策として、WEB会議システムを活用し、3密を避けるとともに、メイン会場を含む4会場を中継することで、各コミュニティより32名の名譽会員様のうち、21名の方にご出席いただくことができました。皆様にご協力いただき、このおめでたい会を途絶えさせることなく開催することができ、豊泉家フェロ1一同、喜びと感謝の気持ちでいっぱいです。

豊泉家グループ代表 田中成和会長より、開会挨拶として「2008年9月15日に第1回を開催しましたが、あつという間の15回だと感慨深く思い出しております。第1回開催の際は、NHKで全国に放送されました。振り返ると延べ352名の方にご参加いただいたっており、今回も32名の方が100歳を迎えられました」と、多くの方が豊泉家で100歳を迎えられたことへの喜びと、これまで日本を支えて下さった人生の先輩方に向けて、尊敬と感謝のお言葉を述べられました。

続いて、ステークホルダーの皆様より頂戴した祝電と、ブルスキーヤーで冒険家の三浦雄一郎氏から頂戴しましたお祝いと激励のビデオメッセージをご紹介し、名譽会員様へ感謝状とフォトフレーム記念品をお贈りいたしました。そして、108歳(茶寿)を迎えられた酒井文子様へ茶寿の記念品を贈呈いたしました。また豊泉家グループCEO 桂春園治郎氏から名譽会員代表の石田ヨシ子様へ、100歳に因んで100本のバラをお贈りしました。謝辞として、名譽会員代表の山本清様より「今日は、このような会を開催していただき、誠にありがとうございます。今後さらに」とうございます。今後さらに

名豊会の名譽会員が増え賑やかな会になるように願っております。そのためにも、皆さん、健やかな身体と康らかな心で毎日を元気に愉しむ暮らしを目指しましょう」と力強くたたかいました。

最後に開会挨拶として、社会福祉法人福祥福祉会阿久根賢理事長より「山本様のハツラツとした謝辞を頂き、私たちもまだまだ頑張らなければならぬ、恩返しという想いです。皆様これからもより心豊かに、また健康にお過ごしいただけるよう精いっぱい努めてまいります」と三唱後閉会となりました。

今後100歳以上の皆様と集い、皆で万歳三唱ができますよう、豊泉家フェロ1全員で力を合わせて更なるサービスの質向上に努めてまいりますので、今後とも何卒ご指導ご鞭撻及びご協力賜りますます、よろしくお願ひいたします。

なお、名豊会の詳しい様子はHCC TIMES号外を各ホームの受付に置いておりますので、ぜひご覧下さい。

記者：広報戦略室 東谷 祐子

浦雄一郎氏よりビデオメッセージにて名譽会員の皆様に向けての祝福と激励のお言葉を頂戴いたしましたので、ご紹介いたします。

三浦氏をはじめ株式会社ミウラドルフィンズの皆様には、豊泉家と共同でエイジレス・ライティングの開発に携わっていただいております。

三浦氏からのメッセージ(抜粋)「百歳クラブ」名豊会「尊敬と感謝の集い2022」開催おめでとうございます。100歳以上にそれを超えようとしていくことは大変素晴らしい、これからは皆様のお元気で豊かな人生を祈念しております。

私も今年で90歳になりますが、人生はこれからだと思っております。人はどうしても高齢になると「歳だから、できない」と諦めてしまいますが、「できないことよりもできることを考え、それに向かってチャレンジすることの方が、人生を豊かに過ごせると思います。」

名豊会の皆様のご健康とご多幸、そして更なる皆様への素晴らしい人生のチャレンジを祈念しております。

この度、茶寿を迎えられた酒井文子様をご紹介いたします。「茶寿」とは、数え年で108歳を祝う長寿祝いです。由来は、「茶の文字を分解すると、草冠くさかんむりが「十」を二つ並べているように見え、下が「八十八」と見える事から「10+10+88=108」として108歳をお祝いする年としての呼び名に由来する」と言われています。

今回の名豊会で茶寿のお祝いとして贈呈したストールは、寒さが苦手な酒井様のために、フェロ1が心を込めてお選びいたしました。とても気に入られ、大切に使用してくださいと思います。

嫌えることが大好きで、好き嫌いなく何でも沢山お召し上がりになり、それが元気の秘訣と仰っています。ホームでは規則正しく生活されており、いつも物腰柔らかく、ど

豊泉家グループ代表 田中成和会長より、開会挨拶として「2008年9月15日に第1回を開催しましたが、あつという間の15回だと感慨深く思い出しております。第1回開催の際は、NHKで全国に放送されました。振り返ると延べ352名の方にご参加いただいたっており、今回も32名の方が100歳を迎えられました」と、多くの方が豊泉家で100歳を迎えられたことへの喜びと、これまで日本を支えて下さった人生の先輩方に向けて、尊敬と感謝のお言葉を述べられました。



浦雄一郎氏よりビデオメッセージにて名譽会員の皆様に向けての祝福と激励のお言葉を頂戴いたしましたので、ご紹介いたします。

三浦氏をはじめ株式会社ミウラドルフィンズの皆様には、豊泉家と共同でエイジレス・ライティングの開発に携わっていただいております。

三浦氏からのメッセージ(抜粋)「百歳クラブ」名豊会「尊敬と感謝の集い2022」開催おめでとうございます。100歳以上にそれを超えようとしていくことは大変素晴らしい、これからは皆様のお元気で豊かな人生を祈念しております。

私も今年で90歳になりますが、人生はこれからだと思っております。人はどうしても高齢になると「歳だから、できない」と諦めてしまいますが、「できないことよりもできることを考え、それに向かってチャレンジすることの方が、人生を豊かに過ごせると思います。」

名豊会の皆様のご健康とご多幸、そして更なる皆様への素晴らしい人生のチャレンジを祈念しております。

### 「茶寿」のお祝い

小さな小さな事に対しても、手を合わせてお辞儀をして「ありがとうございます」と丁寧な感謝の言葉をかけてくださいます。



### HCC北緑丘

9月23日(金)特別養護老人ホーム豊泉家北緑丘にて、「敬老会」を開催いたしました。

今年度は感染症対策の為に各フロアで規模を縮小しての開催となりました。

三木邦裕コミュニティ長による挨拶とフェローによる敬老会の成り立ちや、賀寿の方をお祝いする特別ムービーをご覧いただきました。

最後に記念品を贈呈し、閉会となりました。



北緑丘コミュニティで賀寿を迎えられた皆様、おめでとうございます。

記者：高崎 孝宜

### HCC住之江

9月22日(木)、ケアハウス豊泉家 住之江にて、「敬老会」を開催いたしました。

今年度は感染症対策の為にコミュニティホールと2階食堂をオンラインとなり、3密を避けての開催となりました。

小中陽三コミュニティ長による挨拶の後、フェローが作成した特別ムービーをご覧いただき、記念品を贈呈させていただきました。

普段ふれあう機会の少ないデイサービスの



フェローも参加してクイズを愉しんでいただき、ロビーで記念写真を撮影いたしました。笑顔のあふれる「敬老会」でした。これからもお元気で、来年もまたこうして敬老会を開催できる日を心待ちにしております。

記者：竹林 晃

### HCC桃山台

9月14日(水)アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4Fホールで、9月15日(木)にケアハウス豊泉家桃山台コミュニティホールにて敬老会を開催いたしました。



当日は賀寿のご入居者を御祝いし、箏の演奏や歌、フェローによるダンスなどが披露されました。ご入居者からは、「綺麗だね」「愉しかった」とお声がけいただきました。

また、昼食には敬老御膳や、季節のデザートをご用意。皆様、「おいしい」と満面の笑みで召し上がっておられました。皆で愉しいひと時を過ごす事ができました。

記者：浅井 隆太

## 敬老会

人生の先輩方に感謝の気持ちとこれからの健康と健やかに過ごしていただくことを願う会です

### HCC芦屋山手

9月15日(木)、CCR豊泉家芦屋山手バイナホールにて、芦屋コミュニティでは初となる「敬老会」を開催いたしました。



当日は、賀寿をお迎えるの皆様のお祝いの他に、敬老会特別エンターテインメントとして、演者様2名にお越しいただき、「南京玉すだれ」を披露



していただき、フェローによる「長生きサンバ」の披露等、盛りだくさんの内容でお祝いをさせていただきました。

賀寿を迎えられた皆様、おめでとうございました。

記者：原 慶彦

### HCCスカイクラブ

#### 初秋のイベント

ほうせんか病院4階では、9月22日(木)に初秋のイベントを開催いたしました。8月に予定していた夏祭りですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止が決定した際の患者様の残念そうな様子が忘れられずコロナが落ち着いたタイミングで、急遽開催することがになりました。

縁日では欠かせない「たこ焼き屋台」をお愉しみいただくため、ボランティアの皆様との協力を得て午後のティーサービスの際に、たこ焼き屋台をオープンさせました。

そして、後半にはフェローによるピアノライブを行い、皆様にゆつたりとした時間を愉しんでいただきました。

お手製のたこ焼きと懐かしい音楽で、心地よい時間を共有し、心もお腹も満たされたひと時になったのではないのでしょうか。

大きな口を開けてたこ焼きを頬張る姿を見て、フェローもボランティアの皆様も釣られて笑顔になりました。

夏祭りよりも規模を縮小しての開催となりましたが、皆で愉しい時間を過ごすことができました。

記者：山本 咲千代



### HCCキッズクラブ

#### お誕生日会

お誕生日のお友だちがいる月はお誕生日会を開いて、みんなでお祝いします。

大きなケーキにみんながイチゴやフルーツを飾り、パースケーキを作ります。「どこにかざろうかなあ?」「クリムムのところがいんじやない?」「おいしくなあれ!」など、お話ししながら、ケーキを仕上げていきます。森のお友だちから、お祝いの飾りやお歌を歌うときに使ったね!と、タンバリンも届いてお誕生日会を盛り上げてくれます。ケーキが完成すると、お誕生日のお友だちが口ウソクを飾り、「せーの!」でふうーと火を消す真似をし、「おたんじょうびおめでとう!」のお歌をみんなでお歌ってお祝いします。

みんなからの「○○ちゃん、おたんじょうびおめでとう!」の声に、主役のお友だちは王冠をつけて、みんなの前でちょびり恥ずかしそうだったり、ここにこ笑顔で喜んでいたり。大きなケーキの前で記念撮影をしてお誕生日会が終わります。素敵な1年になりますように☆

記者：中村 宏美



### 第7回 グリーン オアシスの会

9月16日(金)第7回「グリーンオアシスの会」を開催し、豊泉家のデイサービスやショートステイをご利用の方のご家族6名にご参加いただきました。

第1部では、社会福祉法人 福祥福祉会 阿久根賢 理事長による認知症講座として、「若年性認知症」「認知症の初期症状、診断、検査」についてご講義いただきました。

第2部の座談会では、毎回ご家族から様々なお声をいただきますが、今回は自宅での介助の仕方についてのお悩みを多くいただきました。ご本人の認知症の症状や身体的な能力の低下により、歩行などの動作が困難になる中で、ご家族も正しい介助の方法を身につけていただくことの重要性を感じるとともに、豊泉家の各事業での支援を通じて、今できることを日も長く継続していただくことが、ご家族の負担軽減にも繋がります。素敵な1年になりますように☆

参加されたご家族の皆様からは、グリーンオアシスで話すこと、また他の方の意見を聞くことで自分のケアを見つめなおす機会となっているとお話をいただきました。今回いただいた意見を基に介護技術の講座を加えるなど、内容を充実させ、今後もご家族のお困りごとの解消に積極的に取り組んでまいります。

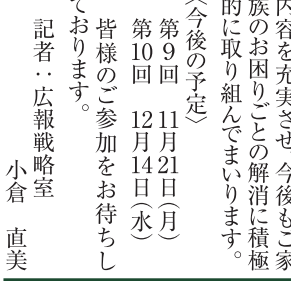
(今後の予定)

第9回 11月21日(月)

第10回 12月14日(水)

皆様のご参加をお待ちしております。

記者：広報戦略室 小倉 直美



2022年9月度フェロー大賞 月間賞

豊泉家フェロー大賞

MCC(医療)ドメイン

医療法人成和会のシステム担当として、ほんせんかCOV... 2019年コンプレックス全体で構築されたシステムを、から新規で構築されました。実際に運用する現場の専門職フェローが活用しやすいように細部まで考慮して、何度もヒアリングと改善を行いつつ、構築されたこと、本体病院のシステム業務も兼務で、マネジメントしながら任務を全うされたことが高く評価されました。



医療法人成和会 法人本部 北川 仁美 フェロー

ACC(介護)ドメイン

2010年度入職からアシスタントドリベックホーム豊泉家桃山台(以下、ALH桃山台)勝てチームを支え、今年で13年目を迎えました。夜勤専従で働き、新人職の看護師が夜勤業務を覚える際には適切な指導育成を行ってまいりました。豊泉家フェローとして、そして看護の専門職として、医療、看護ケアやタリミナルケアの実践と看護の視点や入居者の観察からの気付きを挙げ、各専門職との連携を図りながら、長年ALH桃山台を支えていることが高く評価されました。



社会福祉法人福祥福祉会 桃山台コミュニティセンター 西川 毅 フェロー

ACC(介護)ドメイン

SCCの中心的存在として、3事業体運営ディサービス事業、ホームヘルプ事業、ケアプランセンター事業を牽引しているチームにおいて、今年度からはホームヘルプ事業がメインとなった中、3事業の架け橋となり、連携を密に図りながらご利用者の在宅生活の継続に大きく貢献されました。(9月度まで住之江ミニシティSCC所属)



社会福祉法人福祥福祉会 声屋コミュニティACC 東出 瞳 バイスキャプテン

HCC(家縁)ドメイン

HCCチャレンドジョブクラブ「豊泉家レインボープ」の皆様とともに約3年ぶりの開催となったフロアホッケー「西日本大会」に出場し、見事優勝を飾りました。大会に向けて毎月の練習や広島遠征の準備を進めるなど、利用者のやりに貢献されました。また、敬老の日に行われた「百歳クラブ名豊会」では、イベント全体の備品マネジメント及び北緑丘コミュニティにおける運営責任者として、各フェローと調和を図りながら現場の運営を円滑に進めるなど、フェローの模範となる姿勢で業務に取り組みされたことが高く評価されました。



NPO法人SG博友会 豊泉家コミュニティクラブ 高崎 孝宜 フェロー

2023年度 新卒フェロー内定式

2022年10月3日(月)、アシステッドリビングホーム豊泉家桃山台4階ホールにて、2023年度新卒フェロー内定式を執り行いました。

今年度は介護ドメイン13名、医療ドメイン4名の計17名の内定者が出席いたしました。天高く青空の広がる陽気の中、式典では豊泉家グループ代表、田中成和会長より「豊泉家では、エラーをした人を褒めたたえます。なぜなら、社会では失敗から学ぶことが非常に多いからです。失敗し、学び、そしてもう一度名誉挽回でトライすること、成功するのです。皆様にも豊泉家に入職したら、たくさんエラーをして欲しいです。そしてたくさんの学びを得てください」と歓迎のお言葉を頂戴しました。その後は、内定証書の授与を行い、内定者からは初々しくも、しっかりと想いの伝わる決意表明をしていただきました。最後に、豊泉家グループCEO 桂春園治師匠による豊泉家締めめで式典は幕を閉じました。豊泉家フェローとしての一歩を踏み出す内定者の姿を見て、先輩フェローたちも気持ち新たに、新たな機会となりました。

記者・人財創造部 望月 未菜



豊泉家コムレイズ

9月11日(日)、豊泉家コムレイズが千里北町公園野球場で、第75回連盟旗争奪大会&会長杯争奪秋季大会の初戦に挑み、熊野田ソックスに9対4で勝利いたしました。前大会では3人の投手リレー、代走、守備固め等、全員野球で挑み、幸先の良いスタートとなりました。中でも広報戦略室 石倉慎也室長は2打数2安打2打点の大活躍、最後は満身創痍となり、同所属の瀬戸根将成フェローへ交代するほどの素



増田新監督を迎え、この秋の大会が新しくなり、チームのユニフォームもこのユニフォームに、これから勝利を刻むの運びです。



左から佐野 良兼新主将・増田 直記新監督

晴らしい全力プレーでした。守備面では新主将であるCT佐野良兼キャプテンが十分な点差をキープしたまま、家稲田純フェローへバントアップ。稲田純フェローは試合での投手感を体験して、豊食株式会社 永谷隆朗部長へと継投しました。永谷部長は緩急を活かしたい、最後まで危なげなく勝利しました。フェロー一人ひとりの実力を活かすべく、ピーチライフ 増田直記新監督の指揮の下、今後とも勝利へ向けて邁進してまいります。現在コムレイズでは新入部員を迎え、レギュラーの再構築中です。ご興味のあるフェローは人財創造部までお声掛けください。

記者・人財創造部 梅本 大地

自宅療養支援セットの発送

2022年2月上旬より、本人もしくはご家族のコロナ感染により自宅待機を余儀なくされたフェローに向けて、自宅療養支援セットの発送を開始いたしました。物資の発送から8ヶ月(9月29日時点)が経ち、感染者情報の取りまとめ、物資の調達、梱包から発送在庫管理までを、担当いただいたおりま、一般財団法人SF豊泉家 人財創造部 人財創造部 西田奈奈子フェローにお話しを伺いました。皆様からの「ありがとう」の言葉と、仲間の協力が励みになっていきます。最初は3~4件の発送から始まった試みでしたが、第7波で感染者数が急激に増え、二日12世帯以上、合計30人越えの日が続き、株式会社豊泉家と連携しながら、日々物資調達にご尽力いただき、物が一番大変でしたが、仲間たちと助け合いながら滞ることなく発送を続けることができました。このことは、フェローを支援する人財創造部二員としての、自信にも繋がりました」と当時の様子を振り返っておられました。具体的な業務内容としては、フェローやそのご家族の感染者情報が入ると、該当者にまず電話で体調確認、住所を確認し、必要な物資のリストを作成し、梱包し、発送するまでの一連の流れです。お送りする食品の中には、最初はおパンを入れていたものがコロナ感染の症状として、喉の痛みがあり、パンは飲み込みづらいとの意見が多く寄せられました。そこで、喉に優しい食べ物として、ゼリーやスープなどに変更するなどの物資の内容はニーズを考慮して改良を続けているそうです。御礼のお手紙や職場復帰したフェローから「ありがとう」の言葉をいただくことが何より嬉しく励みになっています。今後も皆様のご要望やお声を反映し、少しでも皆様の助けになり、心身に寄り添った支援ができればと、自宅療養支援セットの発送に込めた想いを語ってくださいました。最後に皆さんに伝えたいことは何ですか?との質問に、声を大にして「ごまめな手洗しよう!」とお話してくださいました。今までに物資を送った数... 1019件 (2022年2月~9月30日) 記者・広報戦略室 小倉 直美



第11回ユニバーサルフロアホッケー西日本大会

9月17日(土)、広島県福山市総合体育館「ユニバーコアリーナふくやま」にて開催されました「第11回ユニバーサルフロアホッケー西日本大会」にHCCチャレンジドジョブクラブ「豊泉家レインボーホープ」として出場してまいりました。

フロアホッケーは、年齢性別障がいの有無に関わらず、体育館や公民館などで気軽に愉しむことができるユニバーサルスポーツの一つです。スティックで、円盤型(ドーナツ状)のフルート製のバツを奪い合い、相手のゴールにシュートをし、得点を多く上げたチームが勝ちとなります。

当日は、HCCチャレンジドジョブクラブより代表者3名が、開会式の選手宣誓という大役も見事にこなし、大会に臨みました。チーム構成は、HCCチャレンジドジョブクラブの皆様に加え、豊泉家コミュニティクラブのフェローはもちろんです。チャレンジドセンター豊中佐野良兼キャプテン、チャレンジドセンター住之江池上眞平、バーススキャプテン、村上小都美、タイムスリ、チャレンジドセンター箕面田中聖乃チーム



ディビジョンCクラス優勝!

スリーも一緒に参加し、「豊泉家レインボーホープ」として出場しました。社会福祉法人福祥福祉会阿久根理事長が会場まで応援に駆けつけてくださり、メンバー全員の士気も高まりました。

結果は、ディビジョンCクラスで見事優勝!初めて大会に出場するメンバーがいる中、出場経験のあるメンバーも3年ぶりの大会で緊張していたのが、最初は動きが固く、勘を取り戻すのに少し時間がかかってきた練習の成果を存分に発揮し、最高の結果を残すことができました。

記者:高崎 孝宜

豊泉家ランドマークタワー2022.10.1再発進

この度、豊泉家ランドマークタワー2階に統合営業本部・広報戦略室、4階に統合管理本部・人財創造本部が集結し、3階の統合運営本部と連携を強化し、豊泉家の縁で繋がるお客フェローに関わる発信や取り組みを強化してまいります。皆様方におかれましては、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願ひ申し上げます。

広報戦略室

2021年4月に発足した広報戦略室は、更なる組織強化を図るため、京町堀コミュニティから豊泉家ランドマークタワーの2階に移転いたしました。人に関わる統合営業本部と人財創造本部、そして広報戦略室と3つの部署が集まったことで、今まで以上に横軸の強化を図り、情報発信に力を入れてまいります。常に新しい情報が集まるような仕組みを構築し、ホームページやSNS等のWEB、HCC TIMES等の情報誌にて、最新かつ最適な広報を行ってまいります。



広報戦略室 室長 石倉 慎也

統合営業本部

統合営業本部は、10月より桜塚にヘッドクォーター(本部)を置いて、1チームとして組織し、スタートしました。営業エリアを北摂エリア(豊能医療圏・三島医療圏と阪神エリア(大阪市医療圏・阪神医療圏・神戸医療圏)の2エリアとし、地域の医療や福祉、行政機関と強いネットワークを構築してまいります。また、地域のニーズとウォンツを収集し、新規事業や新サービスの開発に繋げてまいります。



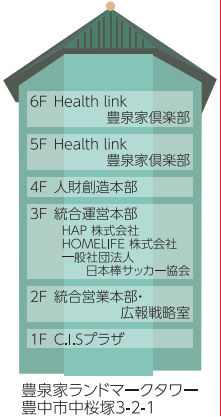
統合営業本部 部長 高谷 嘉一

人財創造本部

人財創造本部は、フェロー第一経営を担う組織として2021年4月に誕生しました。フェロー経営理念「豊泉家全フェロー物心両面のしあわせを追求する」のもと、人財採用や育成、フェロー支援などに日々尽力しております。拠点を豊泉家ランドマークタワーに移し、統合営業本部広報戦略室と新規事業の立ち上げやサービス開発を通じて、豊泉家のブランディング、豊泉家の顧客フェローへの情報発信、個客フェローへの情報発信、個客フェローの集える環境などを三位一体で創造して参りたいと思っております。人財創造本部は、フェローの処遇、健康、成長を支援する制度を構築し、未来のフェローを創造してまいります。今後とも皆様のご協力ご支援をよろしくお願ひいたします。



人財創造本部 本部長 宮食 崇子



豊泉家ランドマークタワー 豊中市中桜塚3-2-1

豊泉家チーム経営 ACDメイン 第21期(2022年度下期) マスタープラン決起大会

開催日: 2022年9月28日(水) 会場: マンステッドリビングホーム 豊泉家桃山台4階 ゴールデンルーム 他WEB開催

参加実績: 16チーム 下期マスタープラン決起大会は、自チームの上半期実績を踏まえ、下半期の達成を目指す数値目標と、そのための重点項目やアクションプラン(実行計画)にスローガンを加えたキャプテンの想いを込めたマスタープラン(半年計画)を発表する場です。全チームが発表することで、マスタープランに込めた想いや計画を他チームや他コミュニティと共有し、チームメンバーと共にマスタープランの宣言実行への決意を固めていただきます。当日は1日でも1ペースでも過去を超越する姿が印象的でした。各チーム3人が上半期の振り返り、未来の想いを語り合う熱い場となりました。

Table with 2 columns: 表彰結果 (Award Results) and 記者:経営管理部 箱石 ひとみ (Reporter: Management Department, Hironaka Hitomi). The table lists awards for the 20th and 21st periods, such as Green Peace (北緑丘コミュニティ) and Peach Forest (桃山台コミュニティ).

おしえてゆたかくん!! (Tell me, Yutakakun!!). A section explaining the meaning of 'Fellow' (フェロー) and 'Customer' (個客) at Seiwa Group, and the 'Challenge' (チャレンジ) concept. It includes a cartoon character and a QR code for more information.

11月 豊泉家グループからのお知らせ (November Notice from Seiwa Group). A section providing information about charity activities, including a golf tournament and a soccer tournament. It also includes a QR code for donations and contact information for the Public Relations Strategy Room.